

CN

CampusNOW

No.
86
2017.3.8

発行／鶴見大学
鶴見大学短期大学部

編集／総務課

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3

<http://www.tsurumi-u.ac.jp>

学校法人 総持学園

鶴見大学

大学院 歯学研究科（博士課程）歯学専攻
文学研究科（博士前期・後期課程）
日本文学専攻・英米文学専攻・文化財学専攻

歯学部 歯学科

文学部 日本文学科・英語英米文学科・
文化財学科・ドキュメンテーション学科

鶴見大学短期大学部

保育科
歯科衛生科
専攻科 保育専攻・福祉専攻

鶴見大学附属中学校・高等学校

鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園

CONTENTS

特集 任期満了で、伊藤学長が退任

初の女性学長 3年間の歩みを振り返る

国際交流で培おう “個の強さ”

つるみん&つるたん

図書館総合展 第2回図書館マスコットキャラクターグランプリ 8位入賞!

鶴大生のボランティア活動 地元での学習支援

就職EXPRESS

就職内定者INTERVIEW



初の女性学長 3年間の歩みを振り返る

～任期満了で、伊藤学長が退任～



全学一丸で改革を進めるには、情報を公開し、共有化を図ることが不可欠です。

——伊藤克子学長

——学長の大役、お疲れ様でした。今のお気持ちを聞かせて下さい。

伊藤 退任の日を迎えられることに、少しホッとしています。任期満了の日まで残りわずかとなりましたが、これまで無事に学長職を続けてこられたのは、多くの皆さまのご支援とご協力の賜物と、心から感謝を申し上げます。

とくに常に身近にいて、時には学長の分身として、一生懸命サポートしてくれた前田、二藤の両副学長には大変お世話になりました。改めてお礼を言いたいと思います。

前田、二藤 いえ、こちらこそ学長と一緒に仕事ができて、多くのことを学ばせていただきました。短い期間でしたが、本当にありがとうございました。

学生の学習行動把握へ、全学共通アンケートを初実施

——3年前の学長就任あいさつで、真っ先に取り組まなければいけない課題として、国の方針に沿った

大学改革を挙げていましたね。改革はどこまで進みましたか。

伊藤 当時は、世界水準から立ち遅れている日本の大学のレベルアップを図るため、文部科学省によって「大学改革実行プラン」が実施に移されたばかりでした。

ここには様々な改革案が列挙してあり、鶴見大学としてもプランに沿った改革を急がなければいけない。そして、成果を上げなければならぬ。全員必死でしたね。

前田 本当にそう。改革を前へ進めるために、全教職員にも相当叱咤激励しましたものね。

伊藤 「検討します」とか「できません」といった後ろ向きの言葉は、一切禁句に。「どうすればできるかを考えて」と、叱咤し続けましたからね。

教職員には申し訳なかったけれど、でも、おかげで改革はかなり進んだのではないのでしょうか。とくに「教育改革」や「地域貢献活動」などの分野では、かなり成果が上がったと自負しているんだけど…。

春は「人事異動」の季節——。

わが鶴見大学でも、伊藤克子学長が3月いっぱい退任します。本学の長い歴史の中で、初の女性学長として3年前に就任。女性の視点を大切にしながら、自ら先頭に立って難題に立ち向かい、大学の改革や魅力づくりに精力的に取り組んできました。

伊藤学長の退任を機に、3年間で共にがんばってきた前田伸子、二藤彰両副学長も交えて、振り返っていただきました。

二藤 私もそう思います。例えば、教育の分野では、全学生の学修行動を把握するため、全学共通のアンケートを初めて実施しましたよね。あれで入学から卒業までの学修行動や部活動などの実態をつかむことができた。また学部や学科間の特性や学修行動の違いなども明らかになりました。このデータは、今後の学生指導や教育レベルの向上に大いに役立つはずですよ。

「地域貢献活動」が活発に。輪島市との交流事業も始まる

前田 地域貢献活動も、活発になりましたよね。このさきがけとなったのは、東日本大震災の後、学生と教職員のボランティアが被災地（宮城県気仙沼市）に入って行った、小・中学生への学習支援活動です。この活動は6年後の今も続いています。

これが呼び水になり、その後、

様々な地域貢献活動が立ち上がりました。例えば、その一つが大学に隣接する豊岡商店街との交流です。この事業では、学生たちが商店街のマップやフラッグづくりに協力し、商業振興に貢献しています。また地元の鶴見区で、学生ボランティアが中心になり、子供たちの居場所づくりと学習支援の活動も始まっています。

伊藤 一昨年から石川県輪島市との交流事業も始まったでしょ。輪島には總持寺の祖院があり、鶴見区の友好交流都市でもあって、鶴見大学とは縁の深い町なんです。今は毎年夏に、鶴見から学生や教員が輪島に出向き、市民セミナーなどを開催していますが、これも大学の特徴を生かした良い地域貢献活動ですよ。

前田 それと昨年の熊本地震の直後にも、「自分たちに何ができるのか」の調査を兼ねて、学生有志が被災地支援に入りました。

伊藤 多くの学生が積極的にキャ



ンパスの外に出て、地域貢献活動に打ち込んでいる。教育はキャンパスの中だけで行われるものではないのですから、うれしい限りです。

「週刊 学長ニュース」を 発刊し、積極的に情報公開

—大学改革では、ほかにどのようなことに力を入れましたか。

二藤 積極的な情報公開と、全学での情報の共有化。それを促進するために、新たに「週刊 学長ニュース」を発刊しましたよね。

伊藤 そうでした。全学が一丸となって改革を進めるには、大学側に隠し事があってはなりません。情報を公開し、共有化を図ることが不可欠です。そこで、執行部で話し合われた内容を「週刊 学長ニュース」に掲載して、大学が抱えている問題や執行部の考えを全学に伝えるようにしました。

二藤 以前からの懸案だった大学図書館の利用時間の拡大問題。これもやっと一歩前進しました。

前田 そう。閉館を午後8時から9時へ。1時間だけですが、何とか延長が実現しましたものね。もう一つ、歯学部の実習室も増設しましたよね。

伊藤 図書館の問題は学生からの要望が強く、「学長ポスト」にも利用時間の拡大を求める切実な声が何度も入っていましたものね。でも、まだまだ課題も多い。今後もさらに改善に努めないとね。よろしくをお願いします。

二藤 それから大学食堂で始めた「100円朝食」。この格安サービス

は好評で、とくに朝が早かったり、余裕のない学生は助かっているようです。

伊藤 「100円朝食」は、父母会にも費用の助成をお願いして、実現した事業です。ささやかなサービスだけど、学生にはもっともっと利用してほしいですね。

「学長裁量経費」で 社会貢献活動などを支援

前田 ええ、そう思います。ところで私、伊藤学長の3年間を振り返って、すごく良かったなと感じることが二つあるんです。

一つはUD（ユニバーシティ・ディベロップメント）の取り組みです。今はどこの大学でも、教員の能力開発のためのFD（ファカルティ・ディベロップメント）や職員の資質向上のためのSD（スタッフ・ディベロップメント）が盛んですが、伊藤学長になってから、これらと連動して、大学全体のレベルアップを図るUDに弾みがつき、学内に活気が出てきた。これは素晴らしいことだと思います。もう一つは、学長裁量経費を初めて実現させたこと。学長の判断で適宜執行できる財源ですが、この経費のおかげで、学長の仕事の幅が大きく広がったのではないのでしょうか。

伊藤 学長の裁量経費は、本当に嬉しかったですね。これが実現したことで、教育改革や社会貢献など、「これはいいな」と思う学生や教職員の活動に、助成金を出せるようになりましたからね。先ほど話が出た豊岡商店街との交流でも、裁量経費から費用を出し、事

この3年間で、
改革や魅力づくりの種は
いっぱい撒いたのですから。

前田伸子副学長



業を支援しました。学生たちにも励みになったようです。

ハラスメントに厳しく対応

—学長就任時は、鶴見大学初の女性学長ということで、その手腕に学内外から注目と期待が集まりました。女性の視点から、とくに力を入れて取り組んだことは何かありますか。

伊藤 私自身「女性であること」を余り意識していないので、特別なことはしていません。学長としての職務を果たそうと務めてきただけです。

ただ、ハラスメントには注意を払い、しっかり対応しました。ハラスメントとは、いじめと同じですから、とくに本学のような「慈しみのこころ」を建学の理念の根幹とする大学では、決してあってはなりません。

二藤 伊藤学長は良心の人、信念の人ですね。芯が強く、ハラスメントへの対応のように、一度決めたら、決してブレません。学長は、私が留学していた時に指導を受けた女性上司にそっくり。良心に従う、ブレない、そして見る視点が高い。この3点がよく似ています。

伊藤 まあ、お褒めいただき、ありがとうございます（笑）。

明日の鶴見大学へ 改革のタネをまく

—学長として、やり残したことはありますか。

伊藤 それは、たくさんあります。禅の精神を生かした人間教育の実施や、学部・学科の枠を超えた全学の交流推進など、やり残したことが多いのではないかしら。

中でも残念なのは、大学の主役である学生を「日の当たる場所」に余り出してやれなかったことです。例えば、入学式や卒業式などの晴れ舞台のプロデュース、あるいは広報紙の作成など、大学にとっての一大イベントや重要な仕事にも、企画立案の段階から学生に参加してもらい、それによって学内に新しい風を呼び込みたかった。学生はものすごい力を持っています。だからこそ、教員や職員は学生の力を信じ、学生たちも自分の力を信じて、3者が協働しているんな企画をつくっていく。そして学生が主役となって大学を盛り立ててほしい。そんなことを考えていたのですが、私の力量不足で任期中の実現には至りませんでした。

前田 でも先生、余り悲観的に考えなくてもいいのではないですか。まだ芽は出てないけれど、この3年間で、改革や魅力づくりのタネはいっぱい撒いたのですから。

二藤 そうですよ。芽吹きを楽しみに、これからも鶴見大学の歩みを暖かく見守ってください。

伊藤 そうね。学校法人総持学園の創立100年も近いし、全学の皆さんの活躍と大学の発展を心より願っています。3年間、本当にありがとうございました。



伊藤学長は良心の人、
信念の人です。

二藤 彰副学長



Tsurumi University
Center for International Exchange

Int'l Exchange for Stronger Individuals

国際交流で培おう “個の強さ”

Diversity, Source of Learning

多様性は学びの泉

自分の将来、日本の将来に不安を感じる若者が増えているといわれます。しかし、いつの時代にも若者は学ぶことで希望を見出し夢を追い続けてきました。学びの出発は「気づき」、何かに気づくことにあります。そして国際交流の目標の一つは、多様性との出会いです。多様性は気づきをもたらしてくれるからです。真の学問は、気づきからスタートします。本学の国際交流は、気づきをもたらす多様性を大切にしています。

特色を活かした多様な国際交流

歯学部

2016年度は、ロンドン大学クイーン・メアリー校との交流で7月上旬から2週間、本学歯学部5年生1名が英国の厳しいビザ条件をクリアし、英国で臨床研修を行いました。7月下旬には同大学より11名の学生を本学で受け入れました。8月には韓国の檀国大学校から学生6名と教員1名を受け入れました。受け入れ学生は附属病院の臨床現場や各講座の見学を通じて日本の歯科医療に触れたほか、歓迎会やセミナーを実施し学生とも積極的に交流を行いました。また2017年2月から3月にかけて香港大学から学生4名を受け入れ、そのほかに中国の首都医科大学やネパールから教員や研究員等を受け入れています。

2016年6月にインドのクーゲインスティチュート・オブ・デンタル・サイエンス(CIDS)と新たに学術交流協定を結んだほか、2017年2月には台湾台北医学大学口腔医学院と協定を締結しました。



文学部

2016年度は、韓国外国語大学から長期留学生6名(前期3名、後期3名)が本学で学びました。6月下旬より中国の北京大学、中山大学、台湾の世新大学から24名の学生・教員を受け入れ、本学図書館での実習や講義、学外実習等を実施しました。同北京大学からは8月より大学院生1名が本学で研究を行いました。ロンドン・シティー・アンド・ギルド大学からは7月から8月にかけてインターンシップ生1名が本学でうるしに関する研修を行いました。本学からの派遣では長期留学制度を

利用しカナダのリジャイナ大学で3名、オーストラリアのニューイングランド大学では3名が現地で学んでいます。同ニューイングランド大学では8月から9月にかけて海外文化研修を実施し、現地にて学生16名が語学研修や日本文化のプレゼンテーション等を行いました。12月には同大学より特別講師を本学に招き公開授業を開催しました。2017年2月にはドキュメンテーション学科の学生6名教員1名が特別実習Ⅱとして台湾へ赴きました。



短期大学部

保育科では、独立行政法人国際協力機構(JICA)の委託により、「中東地域における幼児教育」の研修を実施しました。今年度も11月下旬から約2週間、エジプト、ヨルダンから4名ずつ、モロッコ、パレスチナから1名ずつ、4カ国、計10名の研修員が参加しました。研修期間中は本学保育科講師による講義や保育科



お寿司づくりを体験するロンドン大学クイーン・メアリー校の学生

の授業への参加、附属三松幼稚園や總持寺保育園等関連施設の見学などを行いました。



日本文化体験企画

国際交流センターでは1年を通じて、学部を問わず主に本学での受け入れゲスト向けに日本文化体験企画「クールジャパン・ツルミテイスト」を提供しています。2016年度も歯学部、文学部の各受け入れゲストを対象に、總持寺での坐禅体験や鶴見の寿司店でのお寿司づくり体験、大学近郊の観光地引率案内など、鶴見大学だからできる国際交流を行っています。各イベントではボランティアを募集し、学生が海外学生と交流できる機会も設けています。

国際貢献事業

「難民申請者のための無償歯科治療支援」

鶴見大学・UNHCR駐日事務所・NGOの3者で連携し、日本にいる「難民申請者」に対し本学歯学部附属病院にて無償で保険適用内の治療を提供する、日本で唯一の国際的な支援です。2010年の開始以来継続して患者を受け入れ続け、38の国と地域から、総治療回数1,600回を超える治療実績を積み上げています。(各数値は2016年12月末時点)

つるみん&つるたん

8位入賞!

図書館総合展

第2回図書館マスコットキャラクターグランプリ



公式マスコットキャラクターのつるみんとつるたんが、図書館マスコットキャラクターグランプリに参戦しました。キャラクターグランプリは、パシフィコ横浜において平成28年11月8日から10日まで開催された「第18回図書館総合展」内の企画です。日本全国の図書館や関連団体のマスコットキャラクターが総勢91組も集まり、

PRシートやプレゼンテーションで順位を競いました。

つるみんとつるたんは、名刺やオリジナルグッズを配布しながら会場内を周り、総合展来場者の方や出展ブースの方にご挨拶。写真撮影にも応じ、たくさんの方の声をいただきました。またメインイベントのプレゼンテーションでは、鶴見大学図書館でのさまざまな活動を報告しました。図書館メイン

カウンター前に飾られているつるみんとつるたんの大きなぬいぐるみは、図書館職員が衣装を手作りし、企画展示や季節に合わせてお色直ししていること。館内の本の分類には、つるみんたちのイラストが使用されていること。図書館は鶴見区に在住・在勤・在学の方にも開放されていて、そのPRにも尽力していること。まだ

ありますが、公式マスコットキャラクターとしての精力的な活動に、来場者の方々から驚きの声が上がっていました。

無事にプレゼンテーションを終え、つるみ

んとつるたんの努力が実り、みごと「会場応援賞」8位に入賞しました！この賞は、総合展開催期間中の来場者からの投票で決まるものです。驚くほど多くの方に投票していただき、ふたりも大喜び。初めてキャラクターグランプリに参加し、鶴見大学図書館、また、つるみんとつるたんの魅力を存分にアピールすることができました。

つるみんとつるたんは、これからも学校を盛り上げるためにがんばろうと、決意を新たにしています。皆さん、応援よろしくお願います！



PRシートとプレゼンテーションの様子



鶴大生のボランティア活動

地元での学習支援



「塾に通えない子どもたちや勉強に馴染めない子どもたち、つるみ未来塾での子どもたちとのふれあいは、将来、教師になった時に私自身にとっても役に立つと思います」と、跡部さん。

「教職に関する科目では模擬授業を行います、生徒役は同級生です。実際に子どもたちに指導してみると、伝わらないことも多く、指導方法の難しさを実感しました」と榎本さん。

「ここでは、学習や高校進学に関する相談支援だけではなく、中学生の話し相手としてのコミュニケーションも重要な役割の一つであり、私たちが子どもたちから学ぶことも沢山あります。子どもたちに、勉強するきっかけ、勉強する楽しさ、高校進学への意欲を発見してもらうことが第一の目標であり、それは、将来教育に携わることを目指している私たちにとっても大切なことだと思います」と5人は声を揃えて語ってくれました。

つるみ未来塾 ～学習支援アシスタント～

鶴見区役所では生活保護世帯等への支援の一環として、高校進学をめざす中学1年生から3年生のための個別学習の場「つるみ未来塾」を企画し、開設しています(運営：横浜YMCA)。

平成25年に鶴見区より要請があり、鶴見大学の学生も学習支援アシスタントのボランティアとして活躍しています。昨年春に学内で説明会が行われ、鶴見大学からは30人近い学生がボランティアに登録しました。

「教職を目指しており、子ども

たちの学習支援に携われるボランティア活動に魅力を感じました。英単語が苦手な生徒の成績が大幅に上がり、私の指導方法が楽しいと言ってくれたのがとても嬉しかったです。大学の授業で学んだ、楽しくなる授業の成果が出せたかなと思います」と話す中村弥央さん(英文3年)。

「まだ1年生ですが、将来教職を目指しており、早い時期から中学生とふれ合い、少しでも子どもたちのためになればと昨年6月から始めました。勉強に対するモチ

ベーションが低い生徒の気持ちをどう高めるか、どんな会話をすれば子どもたちが心を開いてくれるかなど、家に帰ってから復習しています。」と話す竹生花帆さん(英文1年)。

跡部美由さん(日文2年)、曽根原康さん(日文2年)、榎本志穂さん(日文2年)の3人も将来教師になった時のためにと、昨年11月から参加。

「部活動などで後輩に教えることはありましたが、つるみ未来塾では初対面の子どもたちへの指導方法や、子どもたちとのコミュニケーションを学ぶことができました」と曽根原さん。

PERSON

取材に参加してくれたメンバー



文学部英語英米文学科3年
中村 弥央さん
出身校：新潟商業高等学校(新潟県)



文学部英語英米文学科1年
竹生 花帆さん
出身校：住吉高等学校(神奈川県)



文学部日本文学科2年
跡部 美由さん
出身校：高木学園女子高等学校(神奈川県)



文学部日本文学科2年
曽根原 康さん
出身校：大和南高等学校(神奈川県)



文学部日本文学科2年
榎本 志穂さん
出身校：福山葦陽高等学校(広島県)



生活の全てがつながる就職活動 少しでも行動することが大切です

地元、新潟に就職希望

私が長岡信用金庫を希望したのは、大好きな地元、長岡で働きたいと思ったこと、そして、地域に密着した仕事で、金融を通じて人々に支援や貢献をする長岡信用金庫の姿勢に感銘を受けたからです。

就職活動は3年生の1月から開始しました。地元で行われる合同説明会のポスターを学内で見つけ、帰省している時期と重なったため、まずは参加しようと思いました。

私の周りには大学進学のために地方から上京し、Uターン就職をする人が少なく、キャリア支援課の方には、私と同じような就職活動をする人がどんな就職活動をしていたかをよく尋ねました。

就職活動中、苦労したのはア

パートと実家の往復です。都内で説明会や試験を行う地元企業もあれば、地元だけの企業もあり、ひと月に神奈川と新潟を複数回往復し、精神面も体力面も大変でした。しかし、両親から食事など生活面でのサポートがあったので、リラックスした状態で説明会や試験に臨むことができました。会社のこと、交通費の問題など、困った時には真っ先に両親に相談しました。

会社説明会では企業のブースに多くの学生が参加していて、「この人数を勝ち抜かなければいけない」と怖くなりましたが、同時に「これだけの人が自分と同じように就職活動を頑張っている」と勇気づけられました。

受験した7社の試験は7月には全て終わり、複数社から内定をい



文学部日本文学科4年

安達 祐実さん

出身校：長岡大手高等学校(新潟県)

内定先：長岡信用金庫

いただきました。両親やキャリア支援課の方に相談し、いろいろな意見を聞くことで迷いも晴れ、自分の気持ちが明確になり、8月上旬に就職先を決めました。

自分の気持ちを知る

就職活動はまず、何事も行動してみることで。合同説明会のポスターを見つけたら日時や場所に目を通す、気になった会社のホームページを検索する、会社説明会に参加する、キャリア支援課に行き相談するなど…。履歴書を書いて試験を受けることだけが就職活動ではなく、その他の準備全てが就職活動です。少しでも何かをすること。それが就職活動につな

がっていきます。

私は1・2年次にインターンシップに参加し、実際に会社で働く人々の姿を目にすることができ、さらに他の学生の就職に対する思いや、意気込みを知ったことも刺激になりました。

就職活動では人から話を聞くことが多くなり、迷うこともたくさんあります。周りの意見を取り入れることと、周りに流されることは異なります。自分の気持ちをしっかりと持つ。「自分がどうしたいか」が一番大切なので、ぼんやりとでもそれがつかめていることで就職活動も変わります。大変なのは皆一緒です。就職活動中の皆さん、頑張ってください。



キャリア支援課からの メッセージ

「なりたい自分」を描き、意識して就職活動を行った先輩たちは、その活動を通じて様々な「気づき」に出会い、大きく成長しています。目標を設定し就職活動をすることは内定につながる大きな要因のひとつです。

来春卒業予定の就職活動中のみなさんも「なりたい自分」に近づけるよう、キャリア支援課を積極的に活用し、どんなことでも相談しましょう！

一番入りたかった横浜市立図書館 憧れていた司書に向けての第一歩

大変だった公務員試験対策

幼い時から本が好きで、本に関係する仕事に就きたいと考えていました。高校2年生の時にドキュメンテーション学科の存在と司書の仕事を知り、鶴見大学で図書館学を学びました。さらに、大学2年生から図書館でアルバイトを始め、「司書になりたい」という思いを強くしました。

就職活動は大学の試験やレポートがひと段落した3年生の2月、公務員試験の勉強から始めました。一次試験対策は苦勞しました。どう勉強すればいいかわからず、特に苦手な理系の科目には四苦八苦しました。問題集だけでなく、勉強法の対策本なども読みましたが、特に一次試験に必要な勉強の

時間配分が書かれており、時間がない私はとても助かりました。

履歴書添削や面接練習ではキャリア支援課の方にとてもお世話になりました。自分でも気づかない私の長所を見つけてくださったり、苦手な面接も「考える時に視線が動く」「早く質問に答えよう」として、質問に声をかぶせてしまう」ことを指摘していただき、本番では落ち着いて面接官の方に向き合え、想定外の質問にも答えることができました。

ドキュメンテーション学科の先生方にもお世話になりました。公務員試験の論文の指導や模擬面接をしていただきました。論文では「結論を先に出して、テーマからずれないように書く」、面接では「どんなに小さなことでも、その



文学部ドキュメンテーション学科4年

佐々木 文子さん

出身校：星槎高等学校(神奈川県)

内定先：横浜市立図書館(司書)

エピソードを掘り下げて話すことが大切」というアドバイスが今も印象に残っています。

役に立ったアルバイト経験

受験した中でも最も動めたかった図書館はアルバイトをしていた横浜市立図書館でした。郷土資料を揃え、シニアコーナーを設けるなど、利用者を考えた新しい取り組みをしていたからです。

アルバイトの経験も役立ちました。一部でも図書館業務の経験があることは強みで、利用者とのコミュニケーション能力、日々の業務での工夫、向上心をアピールで

きました。実際に働いたことで、この図書館の良いところを見つけることができ、それが志望動機にもつながりました。

就職活動は、自分が何になりたいのかを考えることが大切です。どんなことをやりたいのかを考えれば、自ずとどのように行動すればいいかが見えてきます。「どうすればいいか」分からなくなったら、キャリア支援課の方に相談してみてください。一緒に悩んで考えていただけます。無理をしないように、ときどき友達と息抜きをしながら頑張ってください。

いつ求人票が出てもいいように 早めに準備をすることが大切

あきらめずに待った求人

歯科医院で虫歯の予防や歯磨きの練習指導をしていただいた歯科衛生士に憧れ、幼い頃から将来は歯科衛生士になりたいと思っていました。

希望は地元、長野の大学病院や総合病院であったため、求人票を見つけるのに苦労しましたが、キャリア支援課に相談に行ったところ、地元の大学病院に求人があるかを聞いてくださり、就職試験が受けられることになりました。

長野での就職活動のため、神奈川と長野の往復が大変でした。いくつか志望している医院の見学も夏休みを利用してまとめて行なわなければならない、日程の調整に苦労しました。夏休みの見学を考

て、その前に見学を申し込むなど、早めに行動することで乗り越えることができました。

目指していた就職先のことや就職試験の不安は教員に相談して、アドバイスと励ましをいただき、頑張ろうと思うようになりました。キャリア支援課では多くの方にお世話になりましたが、中でも面接レッスンでは、試験のポイントをわかりやすく教えていただき、本番では自信を持って面接を受けることができました。

積極的な学生生活をアピール

大学の正課授業である「人生と職業」ではOBの方が、実際に働いてみないとわからないことや、就職先を決める際に大切なことを教えてください、役に立ちました。



短期大学部歯科衛生科3年

ふじます いずみ
藤升 泉さん

出身校：松商学園高等学校(長野県)

内定先：松本歯科大学病院

また、見学に行った時には歯科衛生士の方に「動いてからも勉強して、常に新しい情報を収集している」との話を伺い、患者さんにより良い医療を提供するために、頑張っていってほしいのだと尊敬できました。

学生時代に歯科助手のアルバイトをしたり、歯に関するボランティア活動やセミナーなど、歯科衛生士になった時に役に立つようなことには進んで参加しました。こうした積極的な行動が内定をいただけたポイントだと思います。努力している姿や、夢に向かって頑張っていることは、面接の時の

自己アピールに役立ちました。

大学1年生の頃から、母に早めにキャリア支援課に行って、就職先の希望を固めるようにいわれていました。大学病院や公務員、企業を目指すのであれば、いつ求人が出るのかわからないので、早くから準備をすることが大切です。特に履歴書は自己アピールの場です。自分のいいところや頑張ったことは最大限に書いてほしいと思います。歯科医院や診療所を受ける場合でも、見学時に提出するところもあります。早めに準備をすることをお勧めします。



就職活動中の皆さんへ

皆さんを最後まで
全力でサポートします

- ★履歴書・エントリーシートの添削を受けよう。(随時受付中)
- ★ネット情報だけに頼らず足を運び自分で確認する習慣をつけよう。
- ★鶴見大学ポータルシステムを活用しよう。
- ★今春の卒業予定者を対象とした求人票もキャリア支援課に毎日届きます。活動中の学生は最後まで諦めず、キャリア支援課に相談しよう。(卒業後も可)

面接練習を重ねて本番では落ち着きを

悩んだ志望園の選択

履歴書講座や就職ガイダンスなど、1年次から大学の就職行事には必ず参加していました。就職活動は2年の9月から開始しました。キャリア支援課の方と相談しながら見学も行い、10月中には受験する幼稚園を決めました。

キャリア支援課の方には早めに履歴書を作成しておくことや、幼稚園や保育園の求人情報を常に確認すること、面接練習ではあいさつ、言葉遣い、身だしなみについて細かく指導を受けました。受験する園を決める際、候補の幅が広く、何を重視するか、悩みました。

三松幼稚園を希望したのは、「命の大切さや感謝の心を培い、子ども達一人ひとりが心豊かな人と成長すること」という園の教育目標と總持寺の緑豊かな環境の中で自

然とともに日常生活を送ることに憧れを抱いたからです。見学の際には園長先生をはじめ、先生方や子ども達が明るく笑顔で迎えてくださり、園全体がとても元気で温かい雰囲気になっていました。

私が就職活動を始めた頃、すでに就職先が決まっている友人もあり、焦る気持ちもありましたが、キャリア支援課の方の助言を参考に、自分のペースで就職活動を進めました。

試験前、緊張している時には家族や友人からたくさんの励ましやアドバイスをもらい、就職活動を乗り越えることができました。内定をいただいた時に自分のことのように喜んでくれたことがとても嬉しかったです。

準備が大切な面接、履歴書

まず、身だしなみ・あいさつ・



短期大学部保育科2年

かわはら むつき
川原 未涼さん

出身校：新栄高等学校(神奈川県)

内定先：鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園

言葉遣いなど、常識的なところから直すことに取り組みました。本番までに面接試験の事前準備もしっかりと行っていたつもりでしたが、試験当日は緊張してしまい、自分が考えていたこと、言いたいことを忘れてしまいました。それでも、事前に面接練習を何度か受けたことにより、ポイントを絞って、頭の中で整理することが大切であることを思い出し、なんとか本番を乗り切ることができました。面接練習は自分自身の足りないところに気づくことができ、いろいろなことが学べます。これから、就職活動をスタートさせる皆さんにも、受けることをお勧めします。何度も受けることにより本番も落ち着いて面接に臨めると思います。

また、夏休みから履歴書を作成することや、求人票を確認することも大切だと思います。履歴書講座では書き方のポイントをわかりやすく説明していただき、スムーズに作成することができるようになりました。

同じ目線で考えることが大切

私は高校生の中から飲食店のアルバイトを続けていました。いつでも笑顔でお客さまの立場に立って接客することを心掛け、その結果、お客さまにも満足していただき、それが私自身のやりがいでもありました。実習でも子どもたちの目線に立って関わることができ、就職活動においても生かすことができました。



大学からのお知らせ

教学課より

年度始めの
オリエンテーションについて

3月下旬より、学科・学年別に年度始めのオリエンテーション・説明会を行います。詳しい日程等は学内掲示・大学ホームページ・ポータルシステムで確認して、必ず出席してください。

保健センターより

平成29年度
学生定期健康診断の実施について

3月31日(金)・4月1日(土)・7日(金)に、全学生を対象に実施します。学科・学年別に受診日を定めていますので、日程・検査項目等の詳細を、学内掲示・大学ホームページ・ポータルシステムで確認し、受診してください。

定期健康診断を受診しないと、健康診断証明

書・その他の証明書の発行停止の他、教育実習等の実習に参加できませんので、必ず受診してください。

図書館より

卒業記念展示・撮影会

日時：2017年3月14日(火) 9時～16時

場所：図書館1階展示コーナー

展示品：源氏物語扇面貼交屏風

文化元年(1804)制作6曲2隻

記念撮影：当日は閉館ですが、屏風の前で自由に記念撮影ができます。



卒業生の図書館利用

図書館は卒業生も利用できます。なお、貸出を希望する場合には「図書館利用カード」が必要ですので、登録手続きを行ってください。手続きは、卒業式の終了後から、随時カウンターで受け付けています。登録料は500円、有効期限は1年間です。



入退館ゲートの設置

平成28年度より入退館管理システムを導入し、入退館口にカード読み取り機を設置しました。これにより、入退館時には利用カード(学生証・身分証・図書館利用カード)が必要です。なお、利用カードをお持ちでない方は、入館時にはチャイムにて、退館時には直接メインカウンターにお申し出いただければ、係員がゲートを開閉します。詳細はホームページ等でご案内していますのでご覧ください。

2017 春のオープンキャンパス開催!

高校生と、保護者の方を対象としたオープンキャンパスを開催いたします。新学期が始まる前に本学の情報をキャッチして、新たな学年のスタートを切ってください!

3月19日(日)

13:00～16:00(15:00受付終了)

全学科同時開催

申込不要

学科紹介、模擬授業、個別相談など実施予定です!

教育振興支援寄附金募集

鶴見大学は、建学の精神「大覚円成 報恩行持」にもとづき、宗教的信念のある有為の人材を育成する教育をおこなっています。「鶴見大学教育振興支援寄附金」は、学生が主体的に自らの能力を発揮して地域社会の発展に貢献し、感謝や奉仕の心を学ぶ教育活動に供することを目的とし、募集させていただいております。この趣旨にご賛同いただき、多くの皆様に特段のご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

◎お問い合わせ先
鶴見大学総務部総務課
電話 045(574)8608
FAX 045(574)8688



2017年度オープンキャンパス日程が決定いたしました。どうぞご期待ください。



全学科同時開催・申込不要・入退場自由



5月28日(日) 13:00～16:00 (15:00受付終了)

6月18日(日) 13:00～16:00 (15:00受付終了)

7月23日(日) 10:00～15:00 (14:00受付終了)

8月6日(日) 10:00～15:00 (14:00受付終了)

8月26日(土) 10:00～15:00 (14:00受付終了)

9月10日(日) 13:00～16:00 (15:00受付終了)

歯学部一日体験入学 **要申込**

7月27日(木) 8月26日(土)

8月26日は、オープンキャンパスと同時開催となります。歯学部ご希望の方は「歯学部一日体験入学」への参加となりますので、事前の申込が必要です。

* 詳細は、決定次第順次ホームページでお知らせします。

学内ルールを守りましょう



携帯電話
マナーを
守りましょう



喫煙は
決められた
場所で

【鶴見大学入試課公式】
受験生応援ブログ

鶴見大学・鶴見大学短期大学の受験生の皆様へ、オープンキャンパス・入試等の最新情報をお届けいたします!



横浜



鶴見大学
鶴見大学短期大学部

Tsurumi University Tsurumi Junior College

ホームページURL <http://www.tsurumi-u.ac.jp>

携帯用サイトURL <http://i.tsurumi-u.ac.jp>



各種お問い合わせ先

●成績・各種届出・学生生活・学納金について	文学部教学課	☎045-580-8212
	短期大学部教学課	☎045-580-8215
	歯学部教学課	☎045-580-8203
●奨学金について	学生支援センター	☎045-580-8217
●進路(就職)について	キャリア支援課	☎045-580-8225
●入試について	入試課	☎045-580-8219
●健康に関すること・健康診断について	保健センター	☎045-580-8283
●歯学部附属病院に関するお問い合わせ		☎045-580-8503
	初診のお問い合わせ	初診科 ☎045-580-8540
●広報について	総務課	☎045-574-8627